

瀬戸内町立篠川小・中学校 ～島口・三味線の取組～

第16回 子ども島口・伝統芸能大会



昭和50年頃まで、集落で三味線・島唄のできる人はごく限られていた。当時、中央公民館で三味線・島唄教室が開かれており、集落からの受講者もいた。昭和53年、篠川小中学校は創立100周年を迎えた。その記念式典において、受講者たちが三味線・島唄の3曲を発表した。そのときの発表がきっかけとなり、創立100周年記念事業資金の一部で三味線を10竿購入し、昭和55年から児童生徒への指導が行われるようになった。

当初、学校の職員が指導を行っていたが、次第に受講者たちも指導に協力するようになった。平成3年、瀬戸内町の社会教育大会が古仁屋小学校体育館で行われた際に、そのオープニングの三味線合奏を篠川小・中学校の児童生徒が行った。

さらに、平成14年頃からは中学校の音楽教師を中心に、地域の指導者及び子ども会にも協力して、本格的に島唄・三味線教室の指導が行われるようになり、現在に至っている。